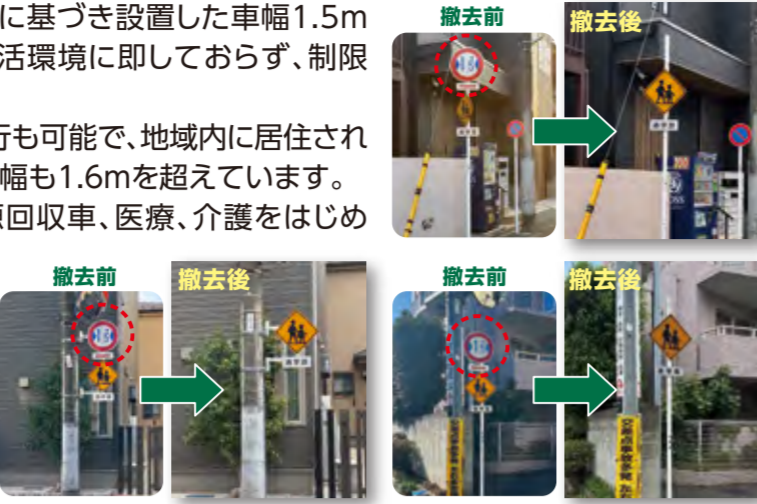


■中野区へ「道路標識の制限解除についての要望書」を提出

中央3丁目、4丁目内の区道に、中野区が車両制限令に基づき設置した車幅1.5m制限に関わる道路標識が、現状の道路幅員、日常生活環境に即しておらず、制限解除を地元3町会の町会長さんと要望しました。道路幅員が約4mと広く、一部で普通自動車の相互通行も可能で、地域内に居住されていて車両を保有される方の多くは普通自動車で、車幅も1.6mを超えています。この区道は日常生活に欠かせないゴミ収集車、資源回収車、医療、介護をはじめ日常生活に関わるその他多くの普通自動車が現状幅員で往来をしています。そこで区道の車幅制限1.5m道路標識の制限解除を要望書しました。結果、4月に車幅制限は解除され、特別な申請をせずに通行が可能になりました。



■中野区医師会を支援

「頭痛の日」をご存じでしょうか。区内の脳神経外科では、年間約4万人の患者さんが受診されていると聞きます。頭痛に関わるご相談から2月22日「頭痛の日」に、中野区医師会による区民公開講座の開催と、中野区役所庁舎のグリーンにライトアップを行いました。

「その頭痛、大丈夫?正しく知って、正しく対処する頭痛講座」
講師:かねなか脳神経外科院長 金中直輔先生
「医師への上手なかかりかた」
講師:みやびハート&ケアクリニック院長 渡邊雅貴先生
ご挨拶:中野区医師会会長 宇野真二先生



(2026.02.22)



中野駅周辺で進むまちづくり

中野駅周辺では、中野区が策定したグランドデザインに基づき、100年に1度と言われるまちづくりが進行しています。



中野駅北口駅前広場イメージ図(完成は2026年12月の予定)



Home Page
Facebook
X (Twitter)
HOMEPAGE
ホームページ

小林ぜんいちオフィシャルWEBサイト
ホームページ
<http://kobayashizenichi.com/>

Facebook
「小林ぜんいち」で検索

X
「小林ぜんいち」又は「@koba_zen」で検索

小林 ぜんいち

- 議会役職等
 - 中野区議会 副議長
 - 建設委員会 委員
 - 防災対策調査特別委員会 委員
- 経歴
 - (株) 宮本忠長建築設計事務所
 - (有) TAF 設計事務所
 - 住宅・教育・医療・福祉・文化・宿泊・耐震等設計監理、専門学校等講師など
- 所属団体等
 - (社) 日本建築学会正会員
 - (社) 東京建築士会正会員
 - 福祉住環境コーディネーター協会会員
 - マンションリフォームマネジャー
 - 日本防災士会会員
 - 早稲田大学福門建築会会員
 - 中野福門会会員
 - 中野区長野興人会会長
 - 桃園地区上町町会会長

中野区議会 公明党議員団 中野区中野 4-11-19 TEL.03-3228-8875

小林ぜんいち NEWS

Zenichi Kobayashi



ご挨拶

小林ぜんいちは今、中野区議会副議長として、議会が円滑に運営されるよう日々の調整や準備に取り組んでいます。

会派や議会事務局と意見を交わし、本会議や委員会がスムーズに進むよう支えることが主な役割です。

また、議長が不在の際には議事進行や対外的な代表も務めます。

さらに現在、議会の透明性や区民参加を高めるための

「中野区議会基本条例」の策定にも力を注いでいます。

区民の皆さまの声が確実に議会に届き、より開かれた議会となるよう、

また、安心して住み続けられる中野へ、これからも取り組んでまいります。

小林 ぜんいち

— KOMETO —
公明党
第46号
2026年6月発行
中野区公明党議員団

石畳の道と紫陽花と古い日本の街並み(AIによる生成)

実績紹介 (中野区ホームページから一部抜粋)

校外学習費用、修学旅行費用等の無償化

中野区では公明党の推進で、令和8年度から区立学校の保護者負担がさらに軽減され、今年4月からは区立小中学校で、教材費、修学旅行、校外活動費などが、小林ぜんいちの提案で無償化されました。これまで、保護者の皆様から徴収してきた教材費、校外活動費、移動教室費(特別支援教育の宿泊学習を含む)、修学旅行費は、原則として区が補助しますので、保護者の皆様からの徴収は行いません。



自転車用ヘルメット購入費用の一部を補助

自転車事故で亡くなった方の約8割は、頭部に致命傷を負っています。ヘルメットを正しく着用し、大切な命を守りましょう。小林ぜんいちの提案で、今年も自転車利用時における事故や転倒から頭を守るヘルメットの着用促進を図るため、一定の安全基準を満たしたヘルメットを、区内の事業協力店で購入する場合に、2,000円を割り引いた価格で購入できます。今年4月1日からは、自転車も交通反則通告制度が開始されました。



～ 交通反則通告制度とは ～

運転者が一定の違反行為をした場合、一定期間内に反則金を納めれば、刑事裁判や家庭裁判所の審判を受けずに事件が最終されるといった制度です。自転車の運転者(16歳未満の者を除く)がした一定の違反が交通反則通告制度の対象となります。



カメラ付きインターホンなど防犯機器購入費用の一部を補助

凶悪犯罪に対し「不安に感じている」というお声をいただきました。中野区では公明党の推進より、個人住宅向けの防犯設備設置を支援する補助制度を今年度も実施しています。個人のお家で防犯カメラ、カメラの機能がついたインターホン、防犯ガラスなどを購入する際、費用の一部を補助します。最大3万円の補助で、5月11日から申請が始まりましたので、ぜひご利用ください。



特殊詐欺被害防止のための「自動通話録音機」を無料で貸出します

令和8年4月末までに中野警察署管内での特殊詐欺(SNS投資詐欺、ロマンス詐欺を含む)の認知件数は11件(昨年同期比+7件)、被害総額は約4億3,600万円(昨年同期比+3億円以上)にのぼり、依然として厳しい状況が続いております。2013年、小林ぜんいちの提案から始まった「自動通話録音機」の無料で貸出が始まりました。特殊詐欺の被害に遭わないためには、「犯人の電話に出ない」ことが有効です。今年度も特殊詐欺被害を未然に防止するため、相手と通話する前に警告メッセージを流し、通話内容を自動で録音する「自動通話録音機」を無料で貸出しています。

申込は電話にて、中野区役所 生活・交通安全係まで。
(詳しくは中野区報6月20日号を参照)



リチウムイオン電池は正しく分別しましょう

今年4月から、ごみ集積所でリチウムイオン電池の回収を始めました。スマートフォン、ハンディファン、電動歯ブラシなどに使われているリチウムイオン電池などの小型充電式電池やモバイルバッテリーを、「陶器・ガラス・金属ごみ」の日にごみ集積所で回収しています。捨てる時はルールを守って正しく捨てましょう! 収集車両や廃棄物処理施設での火災事故の危険があるため、「燃やごみ」や「資源プラスチック」には、絶対に混ぜないでください。



なかのリトルベビーハンドブックを配布しています

小林ぜんいち、低出生体重(出生体重 2500g 未満)で生まれたお子様の保護者は、子どもの成長・発育に大きな不安に寄り添い、子育てを応援しています。小林ぜんいちの提案で中野区は、修正月齢に配慮した発育曲線、発達・育児の記録の記載と、産後のお母さんの気持ちや経験、小さく生まれた赤ちゃんのこと、発達の特徴と対応、利用できるサービスなど、低出生体重児の成長、発育の特性に合わせた内容を盛り込んだハンドブックを作成し配布しています。



中野四季の森公園